

水災に備えて

特色のある内容

嵐山東学区は桂川沿いに位置しており、大雨により河川の氾らん等が発生すれば大きな被害が予測される地域です。そこで、この被害を軽減するため、独自に作成した自主防災部ごとの地図に、下記の項目を記入しながら一時避難場所まで避難する訓練を実施しました。

- 1 道路冠水等の洪水発生時の危険箇所
- 2 体が不自由な方や高齢者の方など、洪水発生時の避難に配慮が必要な方に関する情報
- 3 洪水発生時、緊急に避難可能な近隣の中高層建築物の位置
- 4 防災マップ（水災編）を利用した、安全な避難場所の選定
- 5 避難場所への安全な避難経路の選定及び避難経路上の危険箇所



特記事項

- 道路が冠水した状態を想定して危険箇所を見つける等、住民の方に水災をイメージして取り組んでいただくことが難しかったです。
- 住民の方に水災に対する強い危機意識を持っていただくことが最重要であると感じました。